

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 響	代表者	井上和弘	法人・事業所の 特徴	27年6月に開設した事業所です。2階にサービス付き高齢者住宅を19床併設しており、住宅、在宅と生活スタイルに応じた支援を目指しています。医療との連携を重視しており、看護師常在はもちろん、24時間医療と連携ができる体制を整えています。
事業所名	小規模多機能ホーム 三町	管理者	村田佑妃		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	0 人	2 人	0 人	1 人	1 人	0 人	1 人	0 人	6 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画の各項目に対して、目標を立て職員会にて振り返る。 その取り組みに対して、運営推進会議にて報告し意見を募る。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、サービス評価の項目に沿った目標を設定して、個人で反省し、職員会にて意見を集約し振り返りを行った。 コロナウイルスの影響にて運営推進会議が書面開催になり、意見を聞く機会がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどできていない人の数を減らしたい。 事業所自己評価については、今後もスタッフに対して実施の目的や趣旨等、意識付けをされた上で行っていただきたいと思う。 自己評価の中で「あまりできていない」「ほとんどできていない」を合わせて10名(50%)を超える項目は今後取り組みをいれるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 「できていない」チェック項目を、一人でも多く「できている」にするために、サービス評価の項目を意識しながら、普段の支援を考える。そのために、特にできていないという意見が多かったものを重点的に振り返り、話し合う場を設ける。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 三町オレンジCAFÉ心音等を通して、誰でも気軽に集え、地域の拠点となるような働きかけを行っていく。 整理整頓を心がけ、誰が来ても気持ちのいい事業所を心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> 心音は2回ほどの開催しかできず、利用者とスタッフのみで行った。外部からの参加が難しい状況であった。 整理整頓は常に心掛けている。四季を感じれるような壁紙や案内、そして生け花をされている利用者の生け花を玄関先に飾らせていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 外出行事が難しい時期なので、屋内にいても四季を感じられるといい。 事業所の近くに交通量の多い道路があるので、利用者の離所には気を付けてほしい。 「心音」については、地域であまり知られていないのでは?コロナが落ち着けばより心音を知ってもらおう働きかけに力を入れるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を徹底し、誰にとっても気持ちよく安心して過ごせる環境を整える。 目に見えないところも整理整頓し、見て気持ちのいい職場になるようにする。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が地域に根付いた施設となるような働きかけをしていく。 (心音にもっとたくさんの方に来ていただけるよう、周知していく。) (こちらから出向いて行く。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は地域の方の事業所内への立ち入りや家族の面会が制限され、関りが閉ざされてしまった。三町オレンジCAFÉ心音も2回しかできていない。 ・新しい事業所がオープンしたこともあり、パンフレットを新しくした。事業所の目印となる看板も完成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナの影響で地域との交流が難しい状況であるが、今後も積極的に地域との交流に取り組み、地域に頼りにされる事業になってほしい。 ・「心音」についてもっと地域に啓発していくと良い。実際、知らない地域住民もいるし、知っていても入ってもいいものかどうかと思っている住民もいる。例えば：町内会に依頼して回覧板で様子や来室案内を出すとか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をしっかりとして、ご近所との関係を大切にする。 ・事業所の存在をたくさんの方に知って頂き、頼れる場所を目指していく。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源について話し合う機会を持つ。 ・情報収集を行い、地域の行事等に参加していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源について職員会議にて勉強し、どんな資源があるのか話し合った。 ・地域の行事もほぼ中止となり、参加できなかったが、秋祭りのお神輿が少しだけ来てくれた。情報収集はあまりできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響で地域の行事やイベントの開催が中止となり、参加できなかったことは仕方ないと思う。次年度は開催される状況になってほしい。 ・社会資源について職員会議にて勉強し、どんな資源があるのか話し合った。 ・地域の行事もほぼ中止となり、参加できなかったが、秋祭りのお神輿が少しだけ来てくれた。情報収集はあまりできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟性を持ち、現状のできる限りのことに参加していく。(地域の行事やイベント等) ・今後、心音が再開出来たら三町オレンジカフェを通してつながりを増やしていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にご家族や、地域の方も参加できるような工夫をする。 (内容やテーマを多様にし、参加しやすいものにしていく。) ・他事業所の運営推進会議に積極的に参加していき、参考にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議がほぼ書面開催となったため、開催できていない。 ・2回ほど、他事業所の会議に参加させていただいた。学ぶことは多くあり、今後それを実行していくことが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で事故報告やヒヤリハット報告を行っている事業所もある。報告することで、より開かれた事業所として認識されるのではないかとと思う。今後検討してはいかがでしょうか。 ・現在はコロナ感染予防のため、運営推進会議もままならないが、コロナが落ち着けば運営委員が何時でも事業所を訪れることができるようにしたり、時には利用者に関われる時間を設定したりするなどしてより日々の様子を知ることで現実的な評価ができると考える。職員としてはやりにくい面もあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議での内容に+αできるよう、内容を充実させていく。 ・地域の困りごとと一緒に悩み、考えていく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> •防災訓練を日頃から、いろいろな想定で行っていく。 •炊き出し訓練を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> •月の目標に設定し、スタッフ一人一人が防災を意識するようにした。結果、ひとりひとりが防災について考え、日ごろから考えるいい機会になった。毎月に習慣化していくともっと意識できるのではないか。 •外部を呼んでの炊き出し訓練は実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> •職員は大変だと思うが、様々な想定での訓練を積むことでいざというときに役立つと思うので、頑張ってほしい。 •緊急時、町内としてどのような支援ができるか？利用者の皆さんの避難にどう関わられるか等、具体的な内容を話し合う場を定期的にもつ必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> •訓練だけにとどまらず、実践を想定した日頃の個々の意識付けをしていく。 •地域の避難所等へ実際に足を運んでみる。
----------------------------	--	--	---	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月27日 (19:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	松田、村田、大野、山路、大畑、俊成、石井 中山、長明、日山、松山、藤岡、正岡
-------------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	8	3	5	20

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 慣れていない時期の支援として、細かい情報を引き継いだり、もっとスタッフから寄り添う姿勢を大切にする。 共有ツールを活用しやすいものに変化していき、利用開始してからの記録を詳細にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用を始めたばかりの方の声掛けを意識してしている。 共有ツールは作成したが、まだうまく活用できていない。担当者制も今年度開始したので、今後うまく活用していけるようにしたい。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	12	0	3	20
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	7	6	3	20
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6	8	2	4	20
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	5	6	4	20

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 朝の朝礼と夕の申し送りで情報の共有ができています。 職員間での情報の共有をしている。 利用を始めたばかりの方の声掛けを意識してしている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご本人や家族の意向を正しく理解できていないため、十分な支援ができていない。 利用者のご家族との関係がコロナウイルスの影響で築きにくくなっている。 日々の忙しさから、早く終わらさないといけないという思いが自分本位の支援になってしまっている。 ケアプランを十分理解できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスが流行している今、会いたくても会えない寂しさに寄り添い、コミュニケーションツールを利用し家族との連絡や交流が図れるようにしていく。 情報をスタッフひとりひとりがしっかりと把握し、利用者の支援へとつなげていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月27日 (19:30~21:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	松田、村田、大野、山路、大畑、俊成、石井 中山、長明、日山、松山、藤岡、正岡

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	6	5	5	20

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 本人本位の視点を忘れないよう、本当の目標を探り記録に残す。 ケアプランに目を通し、支援していることのスレがないか確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ケアプランに目を通し、プランに沿った支援をスタッフが連携して行えている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3	7	7	3	20
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	8	6	2	20
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	9	7	3	20
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	8	3	6	20

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ケアプランに沿った歩行訓練等の支援が実行できている。 職員会や、朝礼・申し送り等で話し合っ、利用者の支援に活かしている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者との関わる時間が少ない。座ってゆっくり話していると、他のスタッフに悪いと思ってしまう。 忙しくて話す機会が少なくなったり、待たせてしまっており余裕をもって支援ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 本当の気持ちや希望は、日々の支援の中で見つけ、記録に残し共有していく。 認知症の方が多い中で、声にならない声を理解しようと努力し、見つけていく。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月27日 (19:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	松田、村田、大野、山路、大畑、俊成、石井 中山、長明、日山、松山、藤岡、正岡
------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	11	2	5	20

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが協力して、一人がひとつずつ情報を収集をし、それを10人がすれば10個の情報が集まる。 ・基礎的な介護を各スタッフがスキルアップしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・10個の情報を集めるために、共有のツールを作ったが、できている方はできているし、できていない方は全くできていない。 ・基礎的な介護の知識は、職員会やスタッフ同士で教え合って、できていると感じる。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	6	9	5	20
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	6	5	5	20
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	11	4	3	20
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7	10	1	2	20
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6	9	3	2	20

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体調の変化や、いつもと違うことの変化の気づきが早く、よく利用者を見ている。 ・本人の状況に合わせて、食事形態を変えたり、その日の状態に合わせて入浴を清拭に切り替えたり等の支援ができています。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方や、サ高住入居前の以前の暮らし方を把握することが難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・困っていることや、以前の暮らし方など、話す機会を増やしていく。 ・共有ツールや担当者制を利用して、まずは自分の担当の利用者を知る。コミュニケーションを図る。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月27日 (19:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	松田、村田、大野、山路、大畑、俊成、石井 中山、長明、日山、松山、藤岡、正岡
---------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	6	7	6	20

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も町内のイベントへの参加を積極的にする。 ・地域資源について職員会等で勉強会する機会を設ける。 ・様々な方との会話の中で、情報を収集し利用者の地域資源、活動や支援へとつなげていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源について職員会にて学び、地域資源が少し理解できた。 ・コロナウイルスの影響で少なくなっているも、ドッグセラピーやオレンジカフェ心音を継続できている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	10	6	4	20
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	7	8	4	20
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	8	7	5	20
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	6	8	6	20

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ドッグセラピーや秋祭りの神輿が来たり、地域の資源を活用している。 ・移動スーパーとくし丸の活用で、利用者が買い物をしている。 ・家族との面会制限等がある中、ライン電話やZOOMなどの機能、また手紙をやり取りしたりして工夫している。 	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの影響で家族との時間が少なく、スタッフも交流ができていない。 ・地域とのつながりも今までのようには接することができない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスだからとできない、のではなく今後できることを考えひとりひとりが実行していく。 ・本人と接していない時間こそ、何か困りごとはないか聞き取り、支援につなげていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月27日 (19:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	松田、村田、大野、山路、大畑、俊成、石井 中山、長明、日山、松山、藤岡、正岡
----------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	8	3	5	20

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> 地域の資源、本人のストレンクスについて理解を深める。 日々の関わりや記録を大切にす。 スタッフが指摘したり、補い合いながら支援の統一をして行く。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> 本人の力が発揮できるよう、自立支援を心掛けできることはしてもらったことや、時には待つこともできた。 記録の簡素化により記録時間は短縮できたが、内容が薄くなってしまっている。 支援の方法で困ったら、スタッフ同士で聞いたり、上司に聞いたりして統一していくよう努力できた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	8	7	3	20
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	10	2	1	20
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9	8	1	2	20
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	6	4	2	20

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ストレンクスを引き出す支援、声かけ等が全体的にできている。 柔軟な支援として利用者のしたいことができるよう支援できた。(天気の良い日にテラスで食事したり、ドライブに行けた) ご本人の希望が叶うことにより、利用者の安心につながっている。 	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 優先順位を考えて臨機応変に、的確な支援ができていない。行き当たりばったりの支援になっている。 業務に追われ、本人が納得でき、残存能力が生かせる支援ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの制限が緩和されたら、地域資源を探り外出や交流を再開する。 ご近所とのつながりや、人とのつながり、小さい資源を大切にしてい。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月27日 (19:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

6. 連携・協働	メンバー	松田、村田、大野、山路、大畑、俊成、石井 中山、長明、日山、松山、藤岡、正岡
----------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	5	6	7	20

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 三町オレンジCAFÉ心音の継続をしていき、たくさんの方に来ていただけるよう努力していく。 地域の活動を探っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は事業所内のみで2回ほどしかできていない。 地域の活動もほぼ中止になってしまった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	2	5	4	9	20
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	5	3	11	20
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	0	3	6	11	20
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	3	7	10	20

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> その他のサービス機関とは、電話や事業所へ来所されたときに話し合った。 参加への努力はしたが、できないことのほうが多かった。 	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事や会議もほぼ中止なり、参加できず。毎年行っていた防災訓練もなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスが収束してから、少しずつできることへ参加させていただく。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月27日 (19:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

7. 運営	メンバー	松田、村田、大野、山路、大畑、俊成、石井 中山、長明、日山、松山、藤岡、正岡
-------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4	8	2	6	20

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情があった際には、早急に的確に対応する。 ・事業所のあり方について、意見が言える場面を増やしていく。 ・来年度も一層イベントを盛り上げていき、地域との接点を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情等への対応は、早急に的確にできている。 ・コロナウイルスの影響にて事業所内での行事が多かったが、スタッフが工夫してお花見や夏祭りなど、屋内でスタッフが工夫して利用者を楽しんで頂くことができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	4	7	4	5	20
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	12	1	3	20
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	10	1	6	20
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2	5	7	6	20

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や疑問は面談時や、朝礼・申し送り時に話したりできている。 ・苦情を運営に反映し、今後の事業所がよくなるように対応できている。 	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の拠点にはなれていない。コロナウイルスの影響にて外部との接点が少なく、何もできなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・今後、もっとスタッフひとりひとりが意見を言いやすい環境になるよう、雰囲気づくりや場面を増やしていく。 ・コロナウイルスが収束するまでは、スタッフがアイデアを出し合い、利用者が楽しめるよう工夫していく。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月27日 (19:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	松田、村田、大野、山路、大畑、俊成、石井 中山、長明、日山、松山、藤岡、正岡
-----------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	7	1	8	20

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> • 年間の研修計画を立てる際に、それぞれのスキルアップしたい項目をアンケートして意欲的に取り組む。 • リスクマネジメントについて日々の業務の中で意識し、危険な箇所を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> • 毎月の職員会にてリスクマネジメントについて、カンファレンスしている。 • 研修へはなかなか参加できない状況だが、資格取得へひとりひとりが意欲的に努力している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	9	3	5	20
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	2	8	6	20
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	5	14	20
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	6	4	3	20

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> • 毎月の職員会にてリスクマネジメントについて、カンファレンスしている。 • 研修へはなかなか参加できない状況だが、資格取得へひとりひとりが意欲的に努力している。 • 職員会にて職場内研修が実地できている。 	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> • 外部研修へは、コロナウイルスの影響にて参加できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> • 事業所内にて初任者研修が開催されているため、参加したいスタッフが参加できる体制を整える。 • スタッフの知りたい、学びたい研修を聞き取り、職員会等で開催していく。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月27日 (19:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	松田、村田、大野、山路、大畑、俊成、石井 中山、長明、日山、松山、藤岡、正岡
--------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	10	2	4	20

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 個人ファイルの管理に気を付ける。 個人の情報を話す際は、他利用者に配慮する。 普段の支援が、身体拘束や虐待につながっていないか常に考慮する。 成年後見人制度についての勉強会を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 個人ファイルの取り扱いには気を付けているが、ナースコールが鳴ったりすると焦ってしまい、そのままになっていることもある。 虐待のアンケートを職員会でしたりして、普段の支援を振り返る機会を作った。 プライバシーについては声かけ等の配慮ができています。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	13	6	1	0	20
②	虐待は行われていない	18	2	0	0	20
③	プライバシーが守られている	13	5	2	0	20
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	6	1	9	20
⑤	適正な個人情報の管理ができています	11	6	2	1	20

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束・虐待はしていない 現在は成年後継制度を利用されている方はいない。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> フロアに見守りが自分しかいないときに、利用者の要望を叶えられないことが多々ある。 個人ファイルの取り扱いには気を付けているが、ナースコールが鳴ったりすると焦ってしまい、そのままになっていることもある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> スタッフ同士が指摘や注意しあえる関係や環境を作っていく。 常に利用者の立場になり、どうなのか?と考え、振り返る。 	

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価(地域かかわりシート①)は、A～Fまでの6項目となります。
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。
わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、
当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、
 運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」
 「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって
 必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、
 安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認(該当部分に✓を入れてください)

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？			
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい			
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？			

B. 事業所のしつらえ・環境(該当部分に✓を入れてください)

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・三町オレンジカフェ心音を通して、誰でも気軽に集え、地域の拠点になるような働きかけを行っていく。 ・整理整頓を心掛け、誰が来ても気持ちいい事業所を心掛ける。			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？			
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？			
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？			
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？			

C. 事業所と地域のかかわり(該当部分に✓を入れてください)

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】 ・事業所が地域に根付いた施設となるような働きかけをしていく。 (心音にもっとたくさんの方に来ていただけるよう、周知していく。) (こちらから出向いていく。)			
1	職員はあいさつできていますか？			
2	事業所は、地域の方に知られていますか？			
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？			
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？			

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み(該当部分に✓を入れてください)

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】 ・社会資源について話し合う機会を持つ。 ・情報収集を行い、地域の行事に参加していく。			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？			
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？			
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？			
4	利用者以外のご近所の方の心配な方に、事業所はかかわっていますか？			

E. 運営推進会議を活かした取組み(該当部分に✓を入れてください)

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】 ・運営推進会議にご家族や、地域の方も参加できるような工夫をする。 (内容やテーマを多様にし、参加しやすいものにしていく。) ・他事業所の運営推進会議に積極的に参加していき、参考にしていく。			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？			
2	運営推進会議では、地域で心配である方等の事例検討が行われていますか？			
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？			
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？			

F. 事業所の防災・災害対策(該当部分に✓を入れてください)

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】 ・運営推進会議にご家族や、地域の方も参加できるような工夫をする。 (内容やテーマを多様にし、参加しやすいものにしていく。) ・他事業所の運営推進会議に積極的に参加していき、参考にしていく。			
1	事業所の防災計画(火災・風水害・地震等)を知っていますか？			
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？			
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？			
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？			

以上で終了です。ありがとうございました。

外部評価 地域かかわりシート②(結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	4		1
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	4		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※ 結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過(姿勢)に対する意見

- ・共有ツールの活用ができていない。
- ・職員への意識付け(実施の趣旨・目的等)をされた上で「自己評価」を行っていることが伺えました。取り組み姿勢は良いと思う。
- ・スタッフ全員前向きに取り組んでいるのを感じる。全体的にスタッフ自身の自己評価が厳しい面もあるが、その評価はスタッフ自身の今以上に良くしようという意識の表れととらえている。「ほとんどできていない」「あまりできていない」との評価がある方が、逆に頼もしく、期待がもてる。
- ・毎月、サービス評価の項目に沿った目標を設定して、個人で反省し、職員会にて意見を集約し振り返りを行った。
- ・コロナウイルスの影響にて運営推進会議が書面開催になり、意見を聞く機会がなかった。

【前回の改善計画に対して意見】

※ 前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・声かけを意識しているのはいいと思う。
- ・9項目それぞれ真摯に改善に取り組まれ、概ね良好に改善が図られていると思うが、新型コロナ等の影響もあり、結果として改善に至らなかった項目が若干見受けられるのはやむを得ないと思う。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※ 今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・利用者様に寄り添った支援をお願いします。
- ・前回の改善計画を踏まえたうえで、わかりやすい表現で具体的な改善計画になっており良いと思う。
- ・「ほとんどできていない」と評価のある項目については、スタッフでどうすれば数値が低くなるか？あるいは、0になるか検討する機会が必要と思う。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・ほとんどできていない人の数を減らしたい。
- ・事業所自己評価については、今後もスタッフに対して実施の目的や趣旨等、意識付けをされた上で行っていただきたいと思う。
- ・自己評価の中で「あまりできていない」「ほとんどできていない」を合わせて10名(50%)を超える項目は今後取り組みをいれるべきである。

【改善計画】 ※ 後日記入

- ・「できていない」チェック項目を、一人でも多く「できている」にするために、サービス評価の項目を意識しながら、普段の支援を考える。そのために、特にできていないという意見が多かったものを重点的に振り返り、話し合う場を設ける。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	3		2
2	事業所は、居心地がよい空間になっていますか？	3		2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3	1	1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	1	2	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・玄関から中に入りやすく、ロビーには顔写真でスタッフの紹介、三町新聞などの掲示などをしていて、施設の様子がわかるように工夫されている。
- ・事業所内は清潔感を感じ、居心地の良い空間になっていると思う。
- ・年に数回、それも不定期にしか訪れることはないが、その不定期な訪問時にもしっかりと整理整頓ができており、壁面の飾りつけも素晴らしい。また、職員の挨拶も明るく、訪問者よりも先に挨拶をする姿勢ができています。他事業所(一部ですが)と違って暗いイメージは全くない。このことは、利用者の表情や言動からも感じることができる。
- ・心音は2回ほどの開催しかできず、利用者スタッフのみで行った。外部からの参加が難しい状況であった。
- ・整理整頓は常に心掛けている。四季を感じれるような壁紙や案内、そして生け花をされている利用者の生け花を玄関先に飾らせていただいている。

【前回の改善計画】

- ・三町オレンジカフェ心音を通して、誰でも気軽に集え、地域の拠点になるような働きかけを行っていく。
- ・整理整頓を心掛け、誰が来ても気持ちいい事業所を心掛ける。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・外出行事が難しい時期なので、屋内にいても四季を感じられるといい。
- ・事業所の近くに交通量の多い道路があるので、利用者の離所には気を付けてほしい。
- ・「心音」については、地域であり知られていないのでは？コロナが落ち着けばより心音を知ってもらい働きかけに力を入れると良い。

【改善計画】 ※ 後日記入

- ・感染症対策を徹底し、誰にとっても気持ちよく安心して過ごせる環境を整える。
- ・普段見えないところも整理整頓し、見て気持ちのいい職場になるようにする。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		1
1	職員はあいさつできていますか？	4		1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	2		3
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	1		4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	1	1	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・スタッフのみなさん笑顔で接してもらっている。
- ・両親が入所して同じ里のスタッフさんがいて相談しやすい。
- ・看板が道路沿いにないので、施設と知らない人もいる。
- ・積極的に地域との交流に取り組もうとする姿勢が伺え、地域に根差した事業所になろうとする意欲を感じる。
- ・今年度は地域の方の事業所内への立ち入りや家族の面会が制限され、関りが閉ざされてしまった。三町オレンジCAFÉ心音も2回しかできていない。
- ・新しい事業所がオープンしたこともあり、パンフレットを新しくした。事業所の目印となる看板も完成した。

【前回の改善計画】

- ・事業所が地域に根付いた施設となるような働きかけをしていく。(心音にもっとたくさんの方に来ていただけるよう、周知していく。)(こちらから出向っていく。)

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・今年度は新型コロナの影響で地域との交流が難しい状況であるが、今後も積極的に地域との交流に取り組み、地域に頼りにされる事業所になってほしい。
- ・「心音」についてもっと地域に啓発していくと良い。実際、知らない地域住民もいるし、知っていても入ってもいいものかどうかと思っている住民もいる。例えば：町内会に依頼して回覧板で様子や来室案内を出すとか。

【改善計画】 ※ 後日記入

- ・挨拶をしっかりと、ご近所との関係を大切にする。
- ・事業所の存在をたくさんの方にとって頂き、頼れる場所を目指していく。

D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	2	1	2
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	1	1	3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	2	1	2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？			5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・コロナの影響で外出が制限されている分、施設の中で楽しめる企画をいろいろと考えてもらっている。
- ・利用者個々の地域との繋がりが大切であることは理解できるが、事業所によっては利用者の住んでいる地域が広範囲に及ぶ所もあり、人員・時間に余裕があるならば取組みも可能でしょうが、そこまで求めるのは無理があると思う。まずは、事業所が所在する三町区域との繋がりを最優先にすべきと思う。
- ・今年は利用者の地域との関りは難しい状況ではあったが、利用者が地域に出ていくという基本姿勢はぜひ実現してほしい。
- ・4の項目については、職員も限られていることから、実際どこまでできるかという懸念がある。
- ・社会資源について職員会議にて勉強し、どんな資源があるのか話し合った。
- ・地域の行事もほぼ中止となり、参加できなかったが、秋祭りのお神輿が少しだけ来てくれた。情報収集はあまりできていない。

【前回の改善計画】

- ・社会資源について話し合う機会を持つ。
- ・情報収集を行い、地域の行事に参加していく。

【「地域に向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・新型コロナの影響で地域の行事やイベントの開催が中止となり、参加できなかったことは仕方ないと思う。次年度は開催される状況になってほしい。
- ・社会資源について職員会議にて勉強し、どんな資源があるのか話し合った。
- ・地域の行事もほぼ中止となり、参加できなかったが、秋祭りのお神輿が少しだけ来てくれた。情報収集はあまりできていない。

【改善計画】 ※ 後日記入

- ・柔軟性を持ち、現状でのできる限りのことに参加していく。(地域の行事やイベント等)
- ・今後、心音が再開出来たら三町オレンジカフェを通してつながりを増やしていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	1	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	3		2
2	運営推進会議では、地域で心配である方等の事例検討が行われていますか？	1		4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	3		2
4	運営推進会議で出した意見を、改善につなげていますか？	3		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・今年度は事業所内で運営推進会議が開催できず、ご家族や、地域の方の出席ができなかったことはやむを得ないと思う。次年度以降の課題としてほしい。
- ・2の項目について、運営推進会議に参加したのが少ないため、詳しくわからない。また、町内の役員として日が浅く、「地域で心配のある方等」の把握ができていない現状である。コロナ感染予防の視点や個人情報からの視点から訪問しにくい、聞き取りもできにくい。
- ・運営推進会議がほぼ書面開催となったため、開催できていない。
- ・2回ほど、他事業所の会議に参加させていただいた。学ぶことは多くあり、今後それを実行していくことが課題。

【前回の改善計画】

- ・運営推進会議にご家族や、地域の方も参加できるように工夫をする。(内容やテーマを多様にし、参加しやすいものにしていく。)
- ・他事業所の運営推進会議に積極的に参加していき、参考にしていく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議で事故報告やヒヤリハット報告を行っている事業所もある。報告することで、より開かれた事業所として認識されるのではないと思う。今後検討してはいかがでしょうか。
- ・現在はコロナ感染予防のため、運営推進会議もままならないが、コロナが落ち着けば運営委員が何時でも事業所を訪れることができるようにしたり、時には利用者と関われる時間を設定したりするなどしてより日々の様子を知ることで現実的な評価ができると思う。職員としてはやりにくい面もあると思う。

【改善計画】 ※ 後日記入

- ・運営推進会議での内容に+αできるように、内容を充実させていく。
- ・地域の困りごとを一緒に悩み、考えていく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		2
1	事業所の防災計画(火災・風水害・地震等)を知っていますか？		2	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	1	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		4	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	1		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・防災計画などは、事業所の方でしっかり立てていると思う。
- ・新型コロナの影響で、事業所の炊き出し訓練に外部の方を招いて実施できなかったのはやむを得ないと思う。次年度以降の課題としてほしい。
- ・現在南海トラフ地震は確かに起こると言われているため、事業所及び町内の防災・災害対策(特に地震)を連携の視点で検討することが重要と考える。
- ・2の項目については、町内でも防災に関する学習会をしているため、職員の方も参加できると良い。
- ・月の目標に設定し、スタッフ一人一人が防災を意識するようにした。結果、ひとりひとりが防災について考え、日ごろから考えるいい機会になった。毎月に習慣化していくともっと意識できるのではないか。
- ・外部を呼んでの炊き出し訓練は実施できなかった。

【前回の改善計画】

- ・防災訓練を日頃から、いろいろな想定で行っていく。
- ・炊き出し訓練を行う。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・職員は大変だと思うが、様々な想定での訓練を積むことでいざというときに役立つと思うので、頑張してほしい。
- ・緊急時、町内としてどのような支援ができるか？利用者の皆さんの避難にどう関わられるか等、具体的な内容を話し合う場を定期的にもつことが必要である。

【改善計画】 ※ 後日記入

- ・訓練だけにとどまらず、実践を想定した日頃の個々の意識付けをしていく。
- ・地域の避難所等へ実際に足を運んでみる。